

2021年度 中学校の教科書は こんなに変わる!



まず、教科書改訂と教育改革をおさらいしましょう

2021年4月、中学校で使用する教科書が新しくなります。

学校で使う教科書は定期的に改訂が行われます。もちろん、定期的に教科書が改訂されるのは中学校だけではなく、小・中・高と、順次切り替えられていきます。

小学改訂の目玉は英語の教科書でしたが、高校では新教科や新科目が設置され、大学入試改革の本格実施へとつながっていくことも、重要なポイントとなります。

	教科書	大学入学共通テスト
2020年度	小学校の教科書が切り替え	先行実施期間 (2021年1月実施～ 2024年1月実施)
2021年度	中学校の教科書が切り替え	
2022年度	高1	2021年度の中3生が受験 本格実施 (2025年1月実施予定)
2023年度	高2	
2024年度	高3	
	・高校は年次切り替え ・新教科・新科目の設置 (理数探究、歴史総合、 公共、情報Iなど)	

教科書は、日本の学校教育の拠りどころである学習指導要領に基づいて作られています。学習指導要領は10年ごとに改訂が行われ、社会状況や子どもたちの学習課題などに応じて学習内容を直しています。

今回の改訂は、小学校から大学まで、日本の学校教育全体の改革の一連した流れを強く意識したもので、小学校と中学校、中学校と高校、高校と大学という「接続」が重視されていることがポイントです。

どうして学習指導要領や教科書を改訂しなくちゃならないの？

私たちの「社会」が変化しているからです。

A

中学校では2021年度から、小学校や高校でも切り替えられます。

Q

いつから教科書が新しくなるの？

A

今回の学習指導要領改訂は「接続」がポイントです。

Q

教科書改訂って、単なるリニューアル？

